2026
No.171

単通ネットワーク

埼玉県立大宮中央高等学校　単位制による通信制の課程

「好きなこと」を仕事にするために

校長　山本（やまもと）　康義（やすよし）

校長の山本です。２年目となりました。新しい学期が始まりましたが、皆さんはどのような気持ちで日々を過ごしているでしょうか。

本校で学ぶ皆さんの当面の大きな目標は、「高校卒業」という資格を得ることだと思います。皆さんの多くはその先にある皆さんの人生、つまり「卒業後の自分」をしっかりと見据えていることと思います。皆さんもいつか必ず社会へと踏み出し、何らかの職業に就くことになります。人生の多くの時間を費やすことになる「仕事」について、自らの経験も踏まえ、メッセージを送りたいと思います。

アップルの共同創業者の一人であった故スティーブ・ジョブズ氏は、「やりがいを感じるただ一つの方法は、好きなことを仕事にすることだ」という趣旨のことを語っています。自分の情熱を傾けられるものを仕事にできれば、これほど幸せなことはありません。しかし、いざ「自分の好きなことは何か」と自問してみると、それに明確に答えるのは意外と難しいのではないかと思います。

私は大学生のころ、４年間ずっと弁論を扱うサークルで活動し、将来はマスコミに進みたいと強く願っていました。大学３年生の冬からはマスコミ専門の作文塾にも通い、夢の実現に向けて必死に準備を重ねました。

ところが、大学４年生の夏、第一志望であった某放送局の採用試験に不合格となってしまいました。私の周りにはあえて留年し、翌年の試験に捲土重来を期す仲間もいましたが、不合格という現実に直面したとき、あれほど熱望していたはずのマスコミの世界に対して、全く未練を感じていない自分がいることに気付きました。

それ以降、それまで併願として考えていた教職という仕事の魅力に、ようやく気付き始めました。実際に教員の世界に足を踏み入れてみると、教職は「天職」でした。もし第一志望の放送局に合格していたら、私は自分にとっての本当の「天職」に気付くことはなかったかもしれません。

この経験を振り返って思うのは、「自分が本当に好きなこと」や「自分に向いていること」は、最初からわかっているわけではないということです。様々な経験をし、成長していく過程で、初めて気づくことがあります。

今の時点で「好きなこと」がわからなくても、焦る必要はありません。まずは、目の前にあるレポートやスクーリング、日々の学びに全力で集中してみてください。一生懸命に取り組んだ結果、自らが成長したその先に、ふと姿を現す「好きなこと」や「やりたいこと」があるはずです。そのときの、自分の心の奥底から湧き上がる「好き」という気持ちを、何よりも大切にしてほしいと思います。

新しい学期が始まりました。一緒に頑張りましょう。皆さんの「成長」を楽しみにしています。

新年度のスタートにあたって　　副校長　藤森　雅彦（ふじもり　まさひこ）

在校生の皆さん、新年度の始まりにあたり、心から歓迎と激励の言葉を送ります。新しい一年は、これまでの自分を見つめ直し、次の一歩を踏み出す大切な節目です。特に本校の単位制による通信制課程は、自分のペースで学びを進められる一方で、自ら考え行動する力が求められます。時間の使い方や学習計画を主体的に立てることが、充実した高校生活への第一歩となります。

私にとっても本校２年目を迎え、皆さんの学びを昨年一年間観てきました。毎日の登校、一斉授業ではなく、自身のペースで教科書を読み、自分なりに考え、文章としてまとめる作業が大変なことは容易に推察できます。反面、教えられる授業ではない分、内容を深く理解できたと実感した人も多かったのではないでしょうか。正に「深い学び」を実践されていました。また、わからない点を先生に質問したり、スクーリングで仲間と意見を交わしたりする中で、一人で学んでいるのではないという安心感も得ることができたのではないでしょうか。

学びの形は一人ひとり異なります。順調に進むときもあれば、思うようにいかないと感じることもあるでしょう。しかし、その過程こそが皆さんの力を育てます。困ったときには一人で抱え込まず、先生や周囲の人に相談してください。本校には皆さんを支える環境があります。

また、学習だけでなく、自分自身の興味や関心を広げることも大切です。新しいことに挑戦する中で、自分の可能性に気づくことができるはずです。小さな積み重ねが、やがて大きな成長へとつながります。

本年度も皆さん一人ひとりが自分らしく輝き、それぞれの目標に向かって歩んでいくことを心より願っています。共に実りある一年にしていきましょう。

失敗という名の「切符」を手に、人生の枠を拡げよう　教頭　宇津木　正彦（うつぎ　まさひこ）

皆さんは、脚本家の三谷幸喜さんをご存じですか。私が知る彼が出演しているテレビ番組は、土曜夜２２時「情報７days ニュースキャスター」で、番組内でも絶妙なトークで見入ってしまいます。彼が令和８年４月１日の読売新聞に、「失敗したッ」と題したエッセイを寄稿されていました。そこには、数々のヒット作を生み出してきた彼でさえ「自分は失敗続きの人生だ」という驚くべき告白が綴られています。三谷さんは、小学校から中学まで通った剣道教室で一度も試合に勝ったことがなく、高校受験も大学受験も第一志望には入れませんでした。それどころか、ジャンケンすら弱く「生涯勝率は一割にも満たない」と振り返っています。

けれど三谷さんは、失敗するたびにその理由を考え、そこから這い上がってきました。彼は言います。「『再チャレンジ』という切符を手に入れられるのは、失敗した人だけに与えられた特権だ」と。

実は、この話を深く噛みしめたのは、最近、日曜のジョギング中ラジオを聴いていた時のことでした。流れてきたのは「安住紳一郎の日曜天国」。日常のふとした失敗を笑いに変えて共有するリスナーたちのエピソードを聴きながら、私は走りながら大きく頷いていました。番組で紹介されていた皆さんのエピソードは、まさに「失敗という名の切符」を手にした人々の、愛すべき記録だったからです。

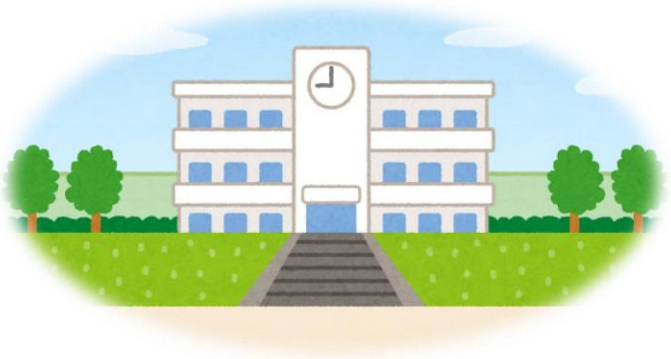
例えば、新年度でビジネスマナーに神経を尖らせていたリスナーさん。外線電話を受け、「〇〇はただいま席を外しております」といった、社外の人に対して「上司を呼び捨てにする」という難解なマナーを完璧にこなそうと緊張していました。電話の保留ボタンを押し、そのままオフィスにいる上司を呼ぼうとした際、脳が「呼び捨てモード」にロックされたままになってしまったのです。結果、オフィス全体に響き渡る声で、「おい、宇津木！！ 電話だぞ！」と、まるで上司を部下か友人のように呼び捨てで叫んでしまったという話。ラジオから流れるその失敗談に、走りながら思わず吹き出してしまいました。

また、高校生のリスナーが、初めてのアルバイトでウエイトレスをした際の失敗談も印象的でした。その日は新年度早々で非常に忙しく、厨房もフロアもバタバタしていたそうです。あるテーブルのお客さまをかなり待たせてしまっており、「早く持っていかなければ」という強いプレッシャーを感じていました。ようやく料理が完成し、意気揚々とテーブルへ向かった投稿者は、満面の笑みで「お待ちかねでした！！」と言い放ってしまったのです。本来は「お待たせしました」と言うべきところを、まるでショーの司会者がスターを呼び込むような、あるいは殿様が民衆に顔を見せる時のような尊大なニュアンスになってしまったというのです。

私自身も、過去に「惜しいことをした」と悔やんでいることがあります。親にピアノを勧められながらも、幼いころ見たドラマ『柔道一直線』で、近藤正臣さんが足の指でピアノを弾くというキザな演出を見て嫌気がさし、拒絶してしまったこと。今思えばあり得ないことですが、その偏見で背を向けたせいで、音楽という豊かな世界を広げる機会を逃しました。

しかし、これらの経験から学べるのは、何事も前向きにトコトン取り組むことでしか、人生の枠は広がらないということです。これから皆さんは何度も壁にぶつかり、落ち込む日があるでしょう。けれど、そこで臥薪嘗胆（がしんしょうたん）の精神で踏ん張る勇気を忘れないでください。失敗したということは、あなたが何かに挑んだ証拠であり、三谷さんの言う「再チャレンジの切符」を握りしめている状態なのです。

失敗を恐れて人生の枠を狭めないでください。かっこ悪くても、遠回りでもいい。緊張して失敗して、赤っ恥をかいたとしても、それはあなたが一生懸命生きた勲章です。目の前のことに真剣に向き合い、失敗さえも自分の血肉に変えていく。そんな力強さを持って、自分だけの広大な人生を切り拓いていってください。皆さんの挑戦を、心から応援しています。



教職員紹介

国語

さいかつ　せいご
西葛　誠悟

進路指導主事/11組担任

国語科担当の西葛です。教科指導はもちろんのこと、進路指導など様々なところで皆さんのサポートができればと思っています。自分のペースを大切に、色んなことに興味を持って生活していきましょう。よろしくお願いします！

国語

なかじま　のりお
中島　則夫

秋季生10組担任

自己中のイラン攻撃はいつまで続くのか。物価高騰はもちろん、生活不安は続きます。そんな世の中、個人差はありますが、皆さんはどんな状況下でも、「学ぶ」ことの大切さと自己責任の厳しさ、を意識し続けて欲しいと思います。本年度もどうぞよろしくお願いします。

地歴・公民

こんどう　たかゆき
近藤　隆行

秋季生3組担任

近藤と申します。世界史が専門ですが、幅広く地歴公民科目を担当します。皆さんの卒業までの道のりを応援しています。そして私自身、大宮中央高校で皆さんと共に多くを学びたいと思っています。一年間、どうぞよろしくお願いします。

地歴・公民

うだがわ　あきひろ
宇田川　昌寛

秋季生9組担任

新しく赴任しました、地歴公民科の宇田川です。スクーリングなどで皆さんとお会いするのを楽しみにしています。大変なことも多いと思いますが、卒業に向けて一緒に頑張りましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

数学

かたおか　ひでのぶ
片岡　秀信

秋季生8組担任

数学と情報を担当しております。教科や学校生活など、少しでも皆さんの力になれるようサポートをしていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

数学

なかむら　とおる
中村　徹

教務主任/11組担任

数学を通じて、皆さんと共に学んでいきたいと思っています。質問や進路の相談など不安なことがあったら気軽に話しかけてください。焦らず地に足つけて取り組んでいきましょう。

理科

あさが　けいすけ
浅賀　啓介

秋季生2組担任

大宮中央高校は自ら学ぶ力を身につけられる素晴らしい学校だと思います。自ら学ぶ力を身につけた立派な社会人になれるよう、一緒に頑張りましょう。授業に関する質問や進路の相談など、いつでも気軽に声をかけてくださいね。

理科

たなか　たかゆき
田中　貴幸

秋季生5組担任

大宮中央高校赴任四年目にして久しぶりの担任をつとめることになりました。担任といっても、生徒の皆さんと顔を合わせる機会は少ないですが、卒業に向けて一緒に取り組んでいきましょう。

保健体育

いちのせ　しげのり
市之瀬　重紀

秋季生11組担任

多くの人と関わりを持ち、高校生活を充実したものにして下さい。自分のペースで卒業に向かって頑張って下さい。

保健体育

こいけ　そう
小池　創

生徒指導主任/11組担任

スクーリング、フットサル部、生徒会を担当します。スクーリングで一緒に体を動かすのはもちろんですが、休み時間の雑談や、レポートでのやり取りも楽しみにしています。 生徒会も、皆さんと「面白いこと」を少しでも形にしていけたら嬉しいです。気負わず、気軽に、まずは6月の中央祭を楽しみましょう。

芸術(美術)

しんき　まゆこ
真木　万由子

秋季生6組担任

初めまして。この4月に赴任した美術科の真木です。卒業に向けて生徒の皆さんが安心して自身の選択ができるようにサポートしていきたいと思います。私自身も大宮中央高校について皆さんから学ばせていただくつもりです。これからどうぞよろしくお願いいたします。

家庭

なかむら　えみ
中村　愛美

秋季生7組担任

4月より赴任いたしました、中村です。これからみなさんと一緒に学んでいけることを楽しみにしています。困ったことや不安なことがあれば、いつでも声をかけてください。よろしくお願いします。

英語

松澤（まつざわ） みさき

秋季生4組担任

英語を担当しています。大宮中央高校では、自分のペースで学校生活を送ることができます。焦らずに経験を重ねていきましょう。私も皆さんと共に学んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

英語

塚本（つかもと） 久子（ひさこ）

秋季生1組担任

昨年4月に大宮中央高校に着任し、1年が瞬く間に過ぎてしまいました。これまでの学校とは違うことが多く戸惑うこともありますが、生徒のみなさんの笑顔ややさしさはここでも変わらないと感じています。今年もどうぞよろしくお願いします。

図書館

尾澤（おざわ） 咲（さき）

司 書

ご進級おめでとうございます。空き時間やお昼休みには、C 棟1階にある図書館にきてみてくださいね。たくさんの本と一緒に、皆さんの来館をお待ちしています。

保健室

戸賀沢（とがさわ） 亮子（りょうこ）

養護教諭

こんにちは、お元気ですか？養護教諭の戸賀沢亮子です。木曜日保健室にいます。お年頃のみなさんは、イロイロあると思います。一人で抱えず、何かあったら来てくださいね。

教育相談室

加藤（かとう） 美和（みわ）

スクールソーシャルワーカー

生徒の様々な悩みに寄り添って、生活のこと、これからのことを一緒に考えてサポートしていきます。毎週木曜日にいますので、気軽に来てください。保護者からの相談も受け付けています。

単位制事務局

安井（やすい） 伯宏（のりひろ）
担当部長

担当部長の安井と申します。今年度で単位制勤務3年目になります。事務局では、生徒の皆さんがより良い環境で教育活動に取り組めるよう支えていきます。よろしくお願いいたします。

浅野（あさの） 健志（たけし）
課　長

ご進級おめでとうございます。一昨年より25年ぶりに、大宮中央高校勤務になりました。皆さん一人一人が決めた目標を達成して卒業できるよう、事務室から陰ながらサポートしてまいります。

藤田（ふじた） 志保（しほ）
主　任

ご進級おめでとうございます。皆さんが充実した学校生活を送れるようにサポートしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

髙橋（たかはし） 怜汰（りょうた）
主　事

ご進級おめでとうございます。皆さんの学校生活がより良くなるよう支えていければと思います。よろしくお願いします。

西田（にしだ） 侑希（ゆうき）
主　事

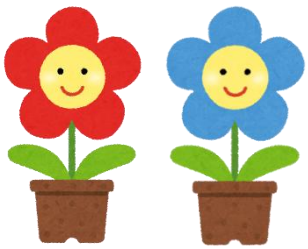
ご進級おめでとうございます！今年度より復職し、再びこの学校で勤務させいただくことになりました。皆さんの学校生活が素敵なものになるよう努めます。どうぞよろしくお願いします。

双石（くらべいし） 大輔（だいすけ）
主　事

4月から単位制の事務局で勤務しています。皆さんの高校生活が、安全で安心できる素晴らしいものとなるようにサポートできたらと思っています。これからよろしくお願いします。

土田（つちだ） 数雄（かずお）
業務主事

初めまして、事務室業務の土田です。生徒の皆さんが気持ちよく学校生活を送れるよう、校庭のお花や樹木の手入れ、校内の設備の修理メンテナンス等のサポートをさせていただきます。よろしくお願いいたします。



教務部より　～通信制での学習を成功させるためのポイント～

皆さん、通信制の学習スタイルには慣れてきたでしょうか？「なんとなく学習のサイクルに乗れていないな」と感じている人も、順調に進んでいる人も、改めて大切なポイントを確認しましょう。

１．「教わる」から「学び取る」へ

通信制の学習の主役は『レポート』です。これまでの学校のように「教えてもらう」のを待つのではなく、レポートを解きながら「自分の力で学び取っていく」のが通信制の形です。スクーリングや質問日は、そのための「手助けの場」として活用しましょう。

２．単位修得のための「３つの約束」

確実に卒業・進級するために、以下の３点を徹底してください。

●レポートは毎週、計画的に提出する。後でまとめてやろうとせず、毎週のルーティンにしましょう。

●わからないことは「質問日」に解決する。後回しにせず、早めに先生からアドバイスをもらってください。

●スクーリングは原則「すべて出席」する。欠席によって出席時数が基準を下回ると、その時点で単位は修得できなくなります。体調不良などの不測の事態も考え余裕を持って出席しましょう。

最後に：その１通が「卒業」につながっています

「明日でも間に合うかな…」と思っているその１通のレポートが、実はあなたの『卒業』を支える大切な一歩です。「一つ一つの積み重ね」が、大きな実を結びます。先延ばしにせず、今日、しっかりと取り組んでいきましょう！

《高認・技能審査について》

●願書の取り寄せや手続きは、各自行ってください。

●事前に担任に受験科目等を確認してもらい、同時に「高認・技能審査　受験届及び合否報告」を、必ず担任に提出して下さい。(※受験した科目によっては単位認定されないことがあります。)

■高認手続き締め切り

~~第１回出願期間　　２０２６年　４月　６日（月）～５月１３日（水）~~ **~~※出願期間終了~~**

試 験 日　　２０２６年　８月　６日（木）、７日（金）

結果通知　　２０２６年　９月　１日（火）　発送予定

※合格が分かったらすぐに担任に連絡する。一部科目合格者は「科目合格通知書」を提出する。

全科目合格者は　「合格成績証明書」を申請し、担任へ提出する。

証明書提出締切　２０２６年　９月１７日（木）（履修指導１日目）１２：００まで

■技能審査手続き締め切り

証明書提出締切　２０２６年　８月２４日（月）１２：００まで

進路指導部より　～進学用奨学金（貸与および給付）について～

奨学金には、主に次の２種類があります。

① 埼玉県高等学校等奨学金　　校内申込：今年度　締切

② 日本学生支援機構予約奨学金　校内申込：４月３０日の説明会で説明済み。

４月３０日に校内説明会を実施しました。進学希望者は、この機会に進学後の学費について保護者の方と話し合っておきましょう。

また、貸与された奨学金は、上級学校卒業後に必ず返済しなければなりません。返済の見通しについても保護者の方と相談し、よく考えておいてください。

なお、②の奨学金については、上級学校入学後でも申し込むことができます。

詳しくは担当者（真木・西葛）または担任に相談してください。

その他説明会（進学・就職）も実施予定です。日程等はLHRで配布された「第１回HRレジュメ」に記載されているので、各自必ず確認してください。（HRレジュメはロイロノートでも閲覧可能です）

生徒指導部より　～「ルール＆マナー」～

１．他人に迷惑をかけない

「他人に迷惑をかけない」ことが本校で生活する基本ルールです。自分がやられて嫌なことは他の人にやらないことが思いやりです。

① 教室、机、いす、トイレ、廊下など公共物を大切に使う。汚したら自分できれいに。

② おしゃべり、不適切な携帯電話等使用、遅刻などにより、他の人の学習を妨げない。

③ 暴力、おどし、いじめ、ＳＮＳ投稿などにより、他の人の安心安全な学校生活を乱さない。

２．貴重品や私物の自己管理

貴重品はもちろん、自分の物はすべて自分で管理し、紛失や盗難がないようにしましょう。

３．携帯電話やタブレット端末の適切な使用

通話、ＳＮＳ、ゲームなど、目的や先生の指示に反したスクーリング中の使用はやめる。着信や通知の鳴動が、静粛な学習の妨げになる人もいます。ＴＰＯ（時、場所、場合）を考えて使いましょう。

４．身分証明書の携帯

あなたが本校生徒であることの証明です。常に携帯し、大切に。紛失や汚破損したときは、事務室に自分で相談しましょう。

※その他、「学習ルールBook」を確認してください。

生徒会より連絡です！！

第36回大宮中央祭

今年度も、S6・7の週を「中央祭週間」として趣味の発表や皆で楽しめるゲーム等を以下の日程で実施します。**当日昼休み、【理科講義室】に集合**して、みんなで楽しい中央祭を作り上げましょう。

1日目

■日　時：6月4日（木）昼休み
□場　所：C棟2階　理科講義室
■内　容：開会式兼ビンゴゲーム大会
□特　典：特別活動時間1時間認定
　　ビンゴ大会景品アリ
※7限HRにて動画投稿作品視聴

2日目

■日　時：6月11日（木）昼休み
□場　所：C棟2階　理科講義室
■内　容：閉会式兼お楽しみゲーム大会
□特　典：特別活動時間1時間認定
　　お楽しみゲーム景品アリ

★趣味の発表がしたい、生徒会活動がしたい、学校生活をもっと楽しみたい、友達が欲しい等があれば、**木曜日昼休みに理科講義室に集まろう**！

生徒会誌『時』37号……令和9年3月上旬発行予定

★作品・イラスト提供、編集スタッフを募集しています。総学のレポートもコンテンツ化予定。
興味のある人は是非！！**担任または担当の中島（国語）まで。**

職員の異動について

令和8年度当初人事で、次の先生および事務職員の方が転出・退職されました。お世話になりました。

＊赤沼　佳幸（国語）
＊新井　ゆみ子（家庭）
＊奥村　健（地歴・公民）
＊松本　清隆（美術）
＊加藤　由美子（主事）
＊竹中　寛仁（業務主事）

次の先生および事務職員の方が新たに本校単位制に赴任されました。よろしくお願いいたします。

＊真木　万由子（美術）
＊宇田川　昌寛（地歴・公民）
＊中村　愛美（家庭）
＊双石　大輔（主事）
＊土田　数雄（業務主事）